




連携パスだより～がん地域連携パス編～ NO. 7

梅雨の候、先生方には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、がん地域連携クリティカルパスの運用に格別のご高配を賜り、感謝申し上げます。さて、今回は、「連携パス担当医療者の紹介」と「肝疾患連携パス」についてお知らせいたします。

パス診療に携わっている当院の
医療スタッフを紹介します




隠岐病院へ乳がんパス
のおしかけ勉強会に
行ってきました。
隠岐病院のブログで
紹介されています。




おかげさまで乳がん地域連携パスは連携医療機関の皆様のご協力により、右肩上がりに増えています。これからもご指導をお願いいたします。

**乳腺外科・化学療法科部長
曳野 肇**




4月から松江日赤 乳腺外科でお世話になっている横野といいます。まだ不慣れな点があり、曳野先生をはじめ、スタッフの皆さまに迷惑をおかけしています。今後、連携医療機関の諸先生方と密な連絡をとれるように努力していきたいと思っておりますのでよろしく御高配賜りますようお願い申し上げます。

**乳腺外科副部長
横野 好成**

がん地域連携パスも軌道にのり、皆さまのお陰と感謝しています。今後も病診連携を深めてまいりたいと思っておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

**第一外科部長
田窪 健二**



今後も、当圏域での胃がん・大腸がん患者さんの術後のフォローなど、皆様方のご協力及びご指導を何卒よろしく願います。

**第一外科副部長
佐藤 仁俊**

肺がんパス



松江圏域の肺がんの患者さんが、少しでも安心して術後の観察期間を過ごせるように、引き続きご協力をお願い申し上げます。

副院長・呼吸器外科部長
磯和 理貴



がん連携パスも軌道に乗ってき、患者さんの恩恵も増えてきているようです。今後ともよろしく願います。

呼吸器外科副部長
佐藤 泰之



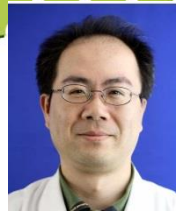
地域連携パスにより患者様の負担軽減となり、今後も協力関係をより堅固なものにしていけたらと思います。

呼吸器外科医師
宮本 英明

肝がんパス



新薬の勉強会で
紹介しました



日頃、肝疾患パスにご協力いただきありがとうございます。肝がんは他疾患と異なり、治療後の再発率は高く、5年生存率低いです。そのため、がんパスを一步進め、肝がんスクリーニングパスを活用したいと考えています。今後ともよろしく願います。

検査部長・消化器内科医師
内田 靖



パスに関しては使用が少ないですが、今後は慢性肝疾患・肝がんのパス連携を進めて参りたいと存じます。先生方の御理解と御協力を何卒お願い申し上げます。

消化器内科副部長
花岡 拓哉

松江地区における肝疾患パスについて

2010年から、ほしの内科・胃腸科クリニックの星野潮先生、松江市立病院の河野通盛先生、あさひまちクリニックの小林淳子先生とで、インターフェロン地域連携パスを検討・運用してきました。その後、肝がん術後連携パスを導入しましたが、肝がんは肝硬変を背景に発症するために再発率が高く予後不良であり、肝不全対策も必要となります。そのため、かかりつけ医より基幹病院で対応が主になり、他のがんパスに比してほとんど稼働しておりません。

肝臓がんの場合、発症後の連携は有用でなく、発癌前のスクリーニングに連携の重点を置くことが大切と考えています。そこで、慢性肝疾患の症例を対象に「肝がん早期発見地域連携パス」を作成しました。欠点はがんパスと異なり連携指導料が取れないことですが、松江地区の肝がん診療を大きく前進させるものと考えております。多くの先生方に、松江地区における肝疾患パスについて知っていただき、ご参加していただけるよう頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしく願います。

松江赤十字病院 検査部長 消化器内科 内田 靖



がん連携パス運用は、5年目となります。ご意見をいただきながら修正を重ね、連携していきたいと思っております。

看護部副部長
療養支援担当
脇田 和子



初めまして。患者さま、地域連携機関の皆さまにとって、連携パスでよかたっと思えるようコーディネートしていきたいと思っております。

療養支援看護係長
渡部 文枝



連携医療機関のみならず、患者さまがスムーズにがん連携パスを利用していただけのように、調整を行っていききたいと思います。

療養支援看護師
坂本 幸子

ちょっと
うれしかった話を
紹介します



ある日、「見て、見て」と笑顔で声をかけてきた
パス利用の患者さん
機能的な『私のカルテ』を
オリジナルでかわいく
チェンジ。

「すてきー」と撮影会が始まりました。
パスだよりの掲載も快くうけてくださり、感謝です。
ちょっと、楽しくなる工夫も素敵で、
またその思いも素敵で、
とても暖かくなりました。



今後も地域の病・医院の先生を初めスタッフの方々、患者さまのご意見をいただきながら、より良い発展できますよう検討を重ねてまいりたいと思っております。今後ともご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

連絡先：松江赤十字病院 地域医療連携課
TEL:0852-32-7813 FAX:0852-27-9261